

北九州市立病院機構における 新型コロナウイルス抗体保有状況

【目的】

北九州市立病院機構での**COVID-19**専用病棟において、**COVID-19**医療に従事する医療従事者の**SARS-CoV-2**の抗体の発現状況を横断的に調査し、感染予防策の見直しの必要性を検討することを目的とした。

※**COVID-19**：新型コロナウイルス感染症

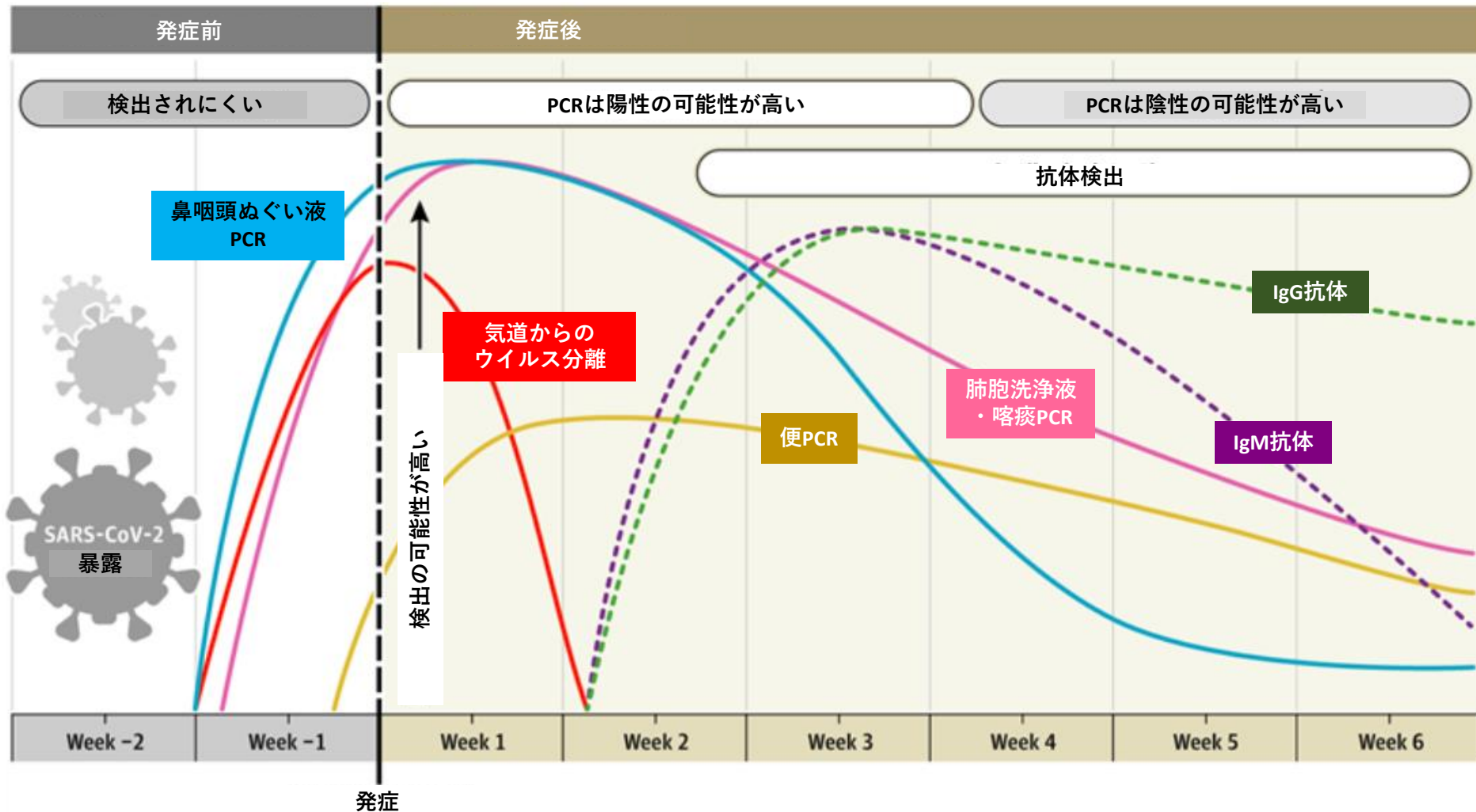
SARS-CoV-2：新型コロナウイルス

COVID-19の抗体とPCR検査の違い

- PCRはウイルスそのものを調べる遺伝子検査であり、確定診断に用いられる。
- 抗体検査はヒトの免疫反応をみている検査であり、過去の感染を調べるための検査に用いられる。

発症前後のウイルス検査の検出状況

ウイルス分離・PCR・抗体



【対象施設】

| | | |
|-------------|---|------|
| 北九州市立病院機構本部 | ： | 31名 |
| 北九州市立医療センター | ： | 445名 |
| 北九州市立八幡病院 | ： | 115名 |

【対象者】

発熱者およびCOVID-19既往者は除外

| | | |
|----------------------|---|------|
| COVID-19病棟で従事する医療従事者 | ： | 90名 |
| 一般病棟で診療に従事する医療従事者 | ： | 402名 |
| 医療に従事しない事務系職員 | ： | 99名 |

【調査期間】

2020年7月1日から10月16日

検査結果

| | 総数 | IgG陽性 | % |
|------------------|-----|-------|------|
| COVID-19病棟の医療従事者 | 90 | 1 | 1.1% |
| 一般病棟の医療従事者 | 402 | 0 | 0.0% |
| 医療に従事しない事務職員 | 99 | 1 | 1.0% |
| 全体 | 591 | 2 | 0.3% |

※米国アルファサイエンティフィック社の抗体検査キット（米国食品医薬局緊急使用許可取得）を使用。

※抗体陽性者はすべてCOVID-19 PCR陰性。

まとめ

- COVID-19専用病棟で勤務する医療従事者90名、一般病棟で勤務する医療従事者402名、事務系職員99名、計591名がこの研究に参加した。
- IgG抗体陽性者は、2名/591名（0.3%）であった。内訳は、COVID-19病棟で従事する医療者1名、事務系職員1名であった。
- 感染予防策が十分に機能していると考えられた。